

## 令和2年度 第3回 地方独立行政法人静岡市立静岡病院評価委員会 会議録

1 日 時 令和2年8月19日(水) 19時00分～20時00分

2 場 所 静岡市役所 本館3階 第3委員会室

### 3 出席者

#### (1) 委員

藤本委員長、足羽委員、興津委員、福地委員、村上委員、望月委員

#### (2) 行政

杉山保健衛生医療統括監、羽根田保健衛生医療部長

<保健医療課> 山本保健衛生医療課長、見城市立病院・公営企業担当課長

#### (3) 法人

宮下理事長、小野寺副理事長兼病院長、平松副理事長、上松理事、

吉永事業管理部長、小林医事経営部長、漆畑総務課長、萩原人事課長、傳刀医事課長、

中川施設課長、望月総合相談センター副センター長

4 傍聴者 0人

### 5 議題

(1) 令和元年度業務実績評価に関する評価委員会意見書案について

(2) 令和元年度業務実績評価に関する市評価書案について

### 6 会議内容

#### (1) 開会

#### (2) 議事

##### ① 令和元年度業務実績評価に関する評価委員会意見書案について

○見城担当課長 資料1、資料2に基づき説明

○望月委員 ケアマネに関する文章の中で、特に連絡の取りにくいのは、外来通院中の主治医のため、どちらかというところらの言葉を加えていただければと思います。

○見城担当課長 そのように修正いたします。

○足羽委員 新型コロナ禍の経営について、第4四半期の収支は減少したものの黒字を達成したことは評価に値するとありますが、第4四半期のデータを提示いただいていたと思いますが、どこに記載があったのでしょうか。

○山田主査 法人の業務実績報告書の「第4-1(1)経営基盤の確立」の実績の中で、2月以降の入院・外来患者数の減少などの文章があったため、意見書はそのような表現となっております。

○足羽委員 数値で確認できていない部分ですので、収支というのは表現が行き過ぎているように思います。

○見城担当課長 そちらにつきましても文言の修正いたします。

○藤本委員長 他の委員の方、ご意見はよろしいでしょうか。

(特になし)

○藤本委員長 それでは、意見書につきましては、ご指摘の2点について修正をすることといたします。こちらにつきましては、再度各委員にご確認いただき最終的には、私にご一任いただくということによろしいでしょうか。

(異議なし)

○藤本委員長 それではそのように致します。

## ②令和元年度業務実績評価に関する市評価書案について

○見城担当課長 資料1、資料3に基づき説明

○藤本委員長 評価書案につきましては、この委員会で直接議論するものではないのですが、市事務局としてご説明いただいたというところでございます。ありがとうございます。

## ③その他について

○見城担当課長 今後の評価決定までのスケジュール等について説明

○藤本委員長 その他、全体を通して委員の皆様からご意見等はございますでしょうか。

○足羽委員 第1回から第3回までの委員会の事前説明について、事前説明のある時と無い時がありましたが、どのような理由で決めているのでしょうか。

○山田主査 例年、第1回目の評価委員会は、業務実績報告書について事前に説明し、以降は適宜としており、今回も同様に考えておりました。今後、また細めにご説明するようにいたします。

○福地委員 前回の委員会資料の質問・意見一覧表の中で、質問には回答がございましたが、意見については何か回答やコメントはないのでしょうか。

○見城担当課長 そちらは、評価には直接は関わらないご意見として掲載のみとさせていただきます。

○福地委員 こちらについて、今、回答いただけますでしょうか。

○見城担当課長 内容について整理できていませんので、対応を検討させていただきたい。

○興津委員 今回初めて委員会に参加させていただきましたが、1日目に結構な量の資料について説明があり、2日目に法人自己評価と異なる意見のあった4項目について評価をするという流れでした。実際は福地委員の言うとおりに他にも質問や意見はあったかと思えます。最終的に市長に提出する資料には4項目のみ記載されることとなりましたが、元々そういう段取りだったのででしょうか。

○見城担当課長 最終的に市長に提出するのは、この意見書となりますが、その他にいただいた意見についても全てではございませんが報告しておるところです。

○興津委員 今回これだけの資料ですと事務方のご苦勞が忍ばれるところですが、時間をかけてもう少し他の項目についても出来たのかなと思います。段取りや議事の進め方について、今後の課題としてもう少し工夫していただければと思います。

もう1点、細かいところですが、市長への提出書類で、段落ちや全角・半角の使い分けについて合っているのか疑問に感じる点があります。数字の全角・半角など、ミスと

思える点もありますので、再度見直していただければと思います。

○見城担当課長 意見書の全角・半角のカッコ等、あえて使い分けをしている箇所もございます。ただ全体にわたって、再度見直しを行いたいと思います。

○望月委員 障害者の「害」の字も、漢字とひらがなが混在していたかと思いますが、統一した方がよろしいかと思います。

○山田主査 障害者の「害」の字については、現在の厚生労働省の基準では漢字を使用しているものと認識していきまして、そちらで統一させていただきたいと思います。

○藤本委員長 法律などは漢字のため公文書では漢字としているかと思いますが、インフォーマルな文書ではひらがなも散見されるかと思いますが、どちらかへの統一ということですので、もう一度確認し修正いただければと思います。

それでは、皆様、その他はよろしいでしょうか。

今回の委員会について、不慣れな進行ではありましたが、皆様のご協力のおかげで無事進めることができました。なかなか限られた時間の中で取りまとめる困難さはございましたが、意見書につきましても、何度か修正もございましたが、改善点は改善し、誉めるべきところは誉めるという形で、私としてはバランスのとれた意見書にまとまったのではないかと考えております。静岡病院は県内唯一の感染症指定医療機関ですのでこれからも新型コロナ禍において重い任務負われることと思います。市民の健康を守るため非常に大変かと存じますが、今後も働き方改革への取組とともに任務を果たしていただきと思います。

(3) 宮下理事長挨拶

(4) 閉会

地方独立行政法人静岡市立静岡病院評価委員会

委員長 藤本 健太郎